

こんな活動です

日曜日の朝のグリーンキーパーから広がる学習ボランティアの輪

東京都板橋区

活動名

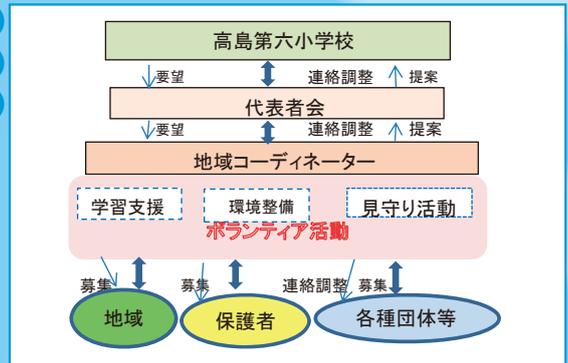
高島第六小学校 学校支援地域本部

関係する学校名

高島第六小学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 2人	ボランティア登録数 800人	学習支援 有	開始年度 23年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティ・スクール	指定日					委員会	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要・経緯
 【学習支援】【環境整備】【見守り活動】などのボランティア募集及び活動調整・補助、学校の要望による新しい活動への支援援助、ボランティア通信の発行など。校庭芝生化後、低調であった芝生整備活動について、本部開始を契機に、当時の学校長からの地域への積極的な声掛けもあって、ボランティア参加者が広がった。毎年、年度初めに年間計画を作成し、毎月1回、学校長・副校長・コーディネーターによるランチミーティングを開催し、計画の追加変更や状況の確認を行いながら活動内容を学習支援にも広げている。広報活動として、年間3回発行の「ボランティア通信」で活動の様子や直近のボランティア募集情報を掲載し地域の掲示板、店舗の軒先にチラシを設置している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ①グリーンキーパー 4月～9月にかけて、月2回日曜日の朝7時半から8時半まで、グリーンキーパーの活動をしている。地域の方や保護者・児童・教員合わせて70人位で、芝生刈りをしたり、雑草抜きをしている。
- ②学習ボランティア 月2回水曜日の放課後に「スーパーベイシックスクール (SBS)」と称して、補充学習教室を行っている。3～6年生の各クラスから毎回5名程度、計約50名の児童が、担任の勧めや保護者・本人の希望により参加して学習している。教科は算数と国語で、その児童にとって不得意な領域を学習支援ボランティアの方々が東京ベイシックドリルや1つ下の学年のフィードバック教材を使って個別指導で教えている。ほかに、「夏休み学習教室」として大東文化大学の学生を含む地域のボランティアによる5日間の補習教室を実施している。

【実施に当たっての工夫】

学校とボランティアを的確に結んでいくことを重視している。学校のニーズを把握し、対応していただくボランティアにしっかり伝えるとともに、実際の活動時にもお互いの意見を調整しながら常に改善を図り、より充実した学校支援を目指す。

PTAや町会との連携・協働を大切にしている点は当然として、学生や保護者、地域の方々にメールアドレスを登録していただき、直近のボランティアの募集や参加いただくボランティアの方に開催案内をメールで配信している。



みんなで取り組むグリーンキーパー

● 事業を実施しての効果・成果

学校支援地域本部が設置されたことにより、学校の教育活動がコーディネーター、ボランティアなどに側面より支えられ、教員の負担が大幅に減少し、担任の先生が教育活動に専念しやすくなった。また、「学校と地域」、「学校と保護者」の結びつきがより深くなり、更にはボランティア活動を通して、「地域とPTA」もより近づき、それぞれの活動を相互にフォローする関係も生まれてきた。ボランティアを通して児童と顔見知りになり、街中でも児童を見守る大人の数も増え、地域も児童を育てるという感覚が一步前進しているのではないかとと思う。

● その他

学習支援については、「SBS」のほか、学校からの要望があった5・6年生の家庭科学習の授業補助を実施。調理実習や裁縫学習の日に学習ボランティアの方に指導補助をしていただいている。包丁や火を扱ったり、ミシンを使ったりする学習では、担任だけでは、安全面に心配があったが、複数の大人のサポートが加わることで、担任も児童も安心して学習に専念することができている。



手厚く支援する放課後学習スーパーベイシックスクール